

IoT セキュリティシンポジウム 2023 by CCDS 開催報告

主催者 一般社団法人 重要生活機器連携セキュリティ協議会

2023年6月27日、京都アカデミアフォーラム in 丸の内にて、一般社団法人 重要生活機器連携セキュリティ協議会(CCDS)によりIoTセキュリティシンポジウム 2023 by CCDSが開催されました。本年度のシンポジウムでは、「AI とセキュリティ」をテーマに、AI 関連やサイバーセキュリティを含む安全保障問題について、国内最先端の研究に携わる先生方に講演していただきました。また、こうした中でビジネス環境の変化に対応するためのソリューションについて、企業様より最新状況についてご報告いただきました。

1. プログラム

名称	IoT セキュリティシンポジウム 2023 by CCDS 「AI とセキュリティ」:防御/攻撃のデュアルユース性を考える
主催	一般社団法人 重要生活機器連携セキュリティ協議会(CCDS)
日時	2023年6月27日(火)13:00~16:55
会場	京都アカデミアフォーラム in 丸の内
実施方式	会場参加およびオンライン
プログラム	<p>[13:00~13:10] 冒頭の挨拶 一般社団法人 重要生活機器連携セキュリティ協議会 代表理事 荻野 司</p> <p>[13:10~13:50] 特別講演1 『IoT セキュリティのための機械学習技術に向けて』 横浜国立大学 大学院環境情報研究院 准教授 白川 真一 氏</p> <p>[13:50~14:30] 特別講演2 『デュアルユース問題を整理する:軍民両用性から善悪両用性まで』 立教大学 人工知能科学研究科 特任教授 大庭 弘継 氏</p> <p>[14:30~14:50] 講演1 『認証機関指定試験所 Onward 社による RED-DA の最新情報とワンストップソリューション』 ONWARD SECURITY JAPAN 株式会社 サイバーセキュリティ技術部 部長 Star TU 氏</p> <p>[14:50~15:10] 講演2 『サプライチェーンを可視化する SBOM とは』 日立チャネルソリューションズ株式会社 コア技術開発センタ ソリューション技術開発本部 ソリューション技術開発部 石川 智祥 氏</p>

[15:10～15:20]

休憩

[15:20～16:50]

パネルディスカッション

テーマ:「善悪デュアルユース性と防御/攻撃のデュアルユース性」

[モデレータ]

一般社団法人重要生活機器連携セキュリティ協議会 代表理事
荻野 司

[パネラ]

・国立研究開発法人 情報通信研究機構 理事長

一般社団法人重要生活機器連携セキュリティ協議会 会長

徳田 英幸 氏

・情報セキュリティ大学院大学 学長

一般社団法人 重要生活機器連携協議会 理事

後藤 厚宏 氏

・横浜国立大学 大学院環境情報研究院および先端科学高等研究院 教授

一般社団法人 重要生活機器連携協議会 理事

松本 勉 氏

・横浜国立大学 大学院環境情報研究院 准教授

白川 真一 氏

・立教大学 人工知能科学研究科 特任教授

大庭 弘継 氏

[16:50～16:55]

閉会挨拶

一般社団法人重要生活機器連携セキュリティ協議会 代表理事
荻野 司

2. IoT セキュリティシンポジウム 2023 by CCDS の概要



(当日の会場風景)

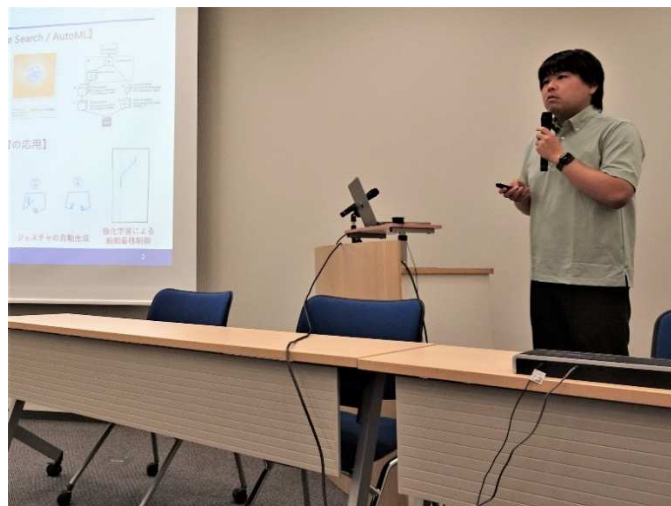
①冒頭の挨拶

一般社団法人 重要生活機器連携セキュリティ協議会 代表理事
荻野 司

CCDS 代表理事の荻野 司より、本日のシンポジウムのテーマや開催概要について冒頭挨拶を行い、開会となりました。

②特別講演1

『IoT セキュリティのための機械学習技術に向けて』
横浜国立大学 大学院環境情報研究院 准教授
白川 真一 氏



特別講演1として、横浜国立大学 大学院環境情報研究院 准教授 白川 真一氏よりご講演いただきました。講演の前半では、IoT セキュリティのための機械学習技術の開発事例として、IoT 環境におけるサイバー攻撃検知の課題と、課題解決に向けたデータ選択手法と PU Learning による検知モデルの学習について、最新の研究状況をご紹介いただきました。

また、後半では IoT 環境における自動機械学習技術 (AutoML) や大規模言語モデルの活用について、研究の実

例を交えてご説明いただきました。

③特別講演2

『デュアルユース問題を整理する:軍民両用性から善悪両用性まで』
立教大学 人工知能科学研究科 特任教授
大庭 弘継 氏



特別講演2として、立教大学 人工知能科学研究科 特任教授 大庭 弘継氏よりご講演いただきました。
本講演では軍事と民生の双方で利用できるデュアルユース技術について、経済安全保障や民間企業の観点から、現状の課題や今後の方向性についてご説明をいただきました。
講演の前半では、両用技術に対する経済安全保障上の影響や対応について国内外の状況をご紹介いただきました。また、後半では AI やサイバーセキュリティに関連した課題に加え、民間企業の製品が意図せず転用されるケースや悪用、誤用されるケースなどをご紹介いただきました。

④講演1

『認証機関指定試験所 Onward 社による ED-DA の最新情報とワンストップソリューション』
ONWARD SECURITY JAPAN 株式会社 サイバーセキュリティ技術部 部長
Star TU 氏



講演1として、ONWARD SECURITY JAPAN 株式会社 サイバーセキュリティ技術部 部長 Star TU 氏よりご講演いただきました。本講演では、IoT セキュリティ動向として欧州の法制度 RED-DA を対象に、製品の認証方法や要求項目について、ETSI EN 303 645 や IEC 62443-4-2 との比較をまじえてご説明をいただきました。また、グローバルな認証機関である DEKRA グループとして、同社が提供する検証ソリューションについてご紹介をいただきました。

⑤講演2

『サプライチェーンを可視化する SBOM とは』

日立チャネルソリューションズ株式会社

コア技術開発センター ソリューション技術開発本部 ソリューション技術開発部

石川 智祥 氏



講演2として、日立チャネルソリューションズ株式会社 コア技術開発センター ソリューション技術開発本部 ソリューション技術開発部 石川 智祥氏よりご講演いただきました。本講演では、CGDS が受託した NEDO の調査報告を中心に SBOM (Software Bill of Materials) の概要や導入方法に関するご説明をいただきました。SBOM を取り巻く状況として、米国の政府調達要件化、欧州法による義務化、日本国内における政府の取り組みをご紹介をいただくとともに、NEDO の調査報告にて提言した SBOM 導入に向けた段階的な対応指針についてご説明いただきました。

⑥パネルディスカッション

テーマ:「善悪デュアルユース性と防御/攻撃のデュアルユース性」

[モデレータ]

一般社団法人重要生活機器連携セキュリティ協議会 代表理事
荻野 司

[パネラ]

・国立研究開発法人 情報通信研究機構 理事長
一般社団法人重要生活機器連携セキュリティ協議会 会長
徳田 英幸 氏

- ・情報セキュリティ大学院大学 学長
一般社団法人 重要生活機器連携協議会 理事
後藤 厚宏 氏
- ・横浜国立大学 大学院環境情報研究院および先端科学高等研究院 教授
一般社団法人 重要生活機器連携協議会 理事
松本 勉 氏
- ・横浜国立大学 大学院環境情報研究院 准教授
白川 真一 氏
- ・立教大学 人工知能科学研究科 特任教授
大庭 弘継 氏



本日のプログラムの最後に、特別講演の登壇者をお迎えし、「善悪デュアルユース性と防御/攻撃のデュアルユース性」をテーマとしたパネルディスカッションを行いました。IoT 機器調査及び利用者への注意喚起の実施状況

や、「IoT 機器への攻撃の対応」、「重要インフラへの攻撃の対応」、「人材教育における課題と今後」の論点について、パネルの方々との意見交換が行われました。特に「人材教育における課題と今後」では、人材教育における善悪のデュアルユース性に関連し、教育現場におけるマルウェアの取扱いや感染対策、著作権の問題、また脆弱性診断の実施における秘密保持のあり方や、JPCERT への報告に関する提言など、幅広い論点にわたり、大変活発な意見が交わされました。

3. 参加者数

事前申込登録者	・会場申込:27 名 ・オンライン申込:166 名 合計: 193 名
参加者数 (参加率)	・会場参加:26 名 ・オンライン参加:169 名 合計: 195 名 ※参加率 101%

以上